
食料保険(imageskit)

ハセポリスク

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

食料保険 (imageskit)

【Nコード】

N1484I

【作者名】

ハセポリスク

【あらすじ】

本当に将来自分を守るものとは…

A子は友達と食べ放題の店に行った。「いらっしやいませ」店内に入ると店員が席まで案内してくれた。「どうぞ。こちらへ」すると店員は絵本を二人の前に出した。そして「ではごゆっくりどうぞ」と言って去って行った。少し普通の食べ放題の店と違うのか？二人はその絵本をメニューだと思い開いて選ぼうとした。そして開くと枯れかけの草が生えた荒地の写真が載せられていた。不思議に思いつながら次のページを開くとグロテスクな竜の絵が描いてあった。と思いきや絵ではない。本物だ。しかし生きていない。サイズも手頃だ。いつのまにか絵本のページの紙が焼き魚用の皿になっていた。すると店員が来て「もし食べづらいなら反対にしてお召し上がり下さい」と言い、二人の竜をひっくり返してくれた。すると裏側は白くなっていて白身魚のようになっていた。二人は恐る恐る箸で突ついて少し竜の白身とやらを口に運んだ。なんととても美味しいのだ。骨も柔らかく焼いてある。全部たいらげてしまった。竜の皮だけが綺麗に残った。すると皿は絵本のページの紙に戻った。次のページをめくると、これまたお手頃サイズの鯉のぼりだ。中に野菜と肉が詰めてある。ほじくり出して食べてみると、とても上品な味だ。あつという間にたいらげた。もうお腹がいっぱいだ。次のページを開く。すると今度はデザートにでもしようというのか招き猫のアイスだ。通称ボンボンアイスと言われるアイスのように、ゴム風船に白いミルクアイスが入っている。それもとても一流の味だ。食べ終わるとゴム製だった招き猫は陶器のように固くなった。もう絵本のページはないようだ。店員が来て「ご利用ありがとうございます。こちらお待ち帰り下さい」と言い、食べた後に残った竜の皮と鯉のぼりと招き猫を差し出した。続けてこう言った。「これらは将来とても値打ちのあるものになります」二人は新感覚なレストランに驚き、頭がぼっくとしていたが、「ありがとうございます」と言って店を

出た。看板をよく見ると食べ放題の前に終身がついていたのに今気付いた。そういえば時間制限がなかったなあとA子はふと思った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1484i/>

食料保険(imageskit)

2010年12月9日14時40分発行